

問1 1950年代後半から始まったテレビの普及が、日本の社会や人々の生活に与えた影響とその背景を説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

1. 高度経済成長期の所得向上を背景に普及し、全国に共通の流行やニュースが同時に広まるきっかけとなった。
2. ラジオに代わるメディアとして、第一次世界大戦後の大正デモクラシーの時期から都市部を中心に広まった。
3. 1970年代の石油危機に際し、政府が節電を呼びかけるための広報手段として各家庭への設置を義務付けた。
4. インターネットの普及と同時期に広まり、国民が自ら情報を発信し、双方向でやり取りする社会を実現した。

問2 北欧のノルウェー沿岸などに広く見られる、奥行きのある複雑な形状をした湾をフィヨルドと呼びます。この地形が形成される主な原因となった作用と、その後の過程について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

1. サンゴ礁が堆積してできた地形が、波の強い侵食作用を受けて複雑な入り江を形成した。
2. 氷河によって削り取られた深いU字型の谷に、海面の上昇や土地の沈降によって海水が入り込んだ。
3. 河川の侵食によってできたV字型の谷が、海面の上昇によって海水に満たされて沈水海岸となった。
4. 石灰岩が二酸化炭素を含む雨水によって溶かされ、その窪地に海水が流れ込んで形成された。

問3 18世紀後半から19世紀初頭にかけて、日本に接近したロシアの動向について述べた文として正しいものを次から選びなさい。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)

1. アヘン戦争での勝利を背景に、軍艦を派遣して通商条約の締結を迫った。
2. ベリーを浦賀に派遣し、アメリカ大統領の親書を渡して開国を要求した。
3. ラクスマンやレザノフを通商使節として派遣し、日本に貿易を求めた。
4. オランダ国王の親書を携えた使節を派遣し、世界情勢の変化を理由に開国を勧告した。

問4 日本の自動車メーカーなどの製造業において、1980年代半ば以降、工場の海外移転が急速に進みました。その主な理由と、それによって国内の産業が衰退してしまう現象の名称を組み合わせた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)

1. 商品の価格を抑えるために人件費の安い国々へ生産拠点を移したことで、国内の生産活動や雇用が減少する「産業の空洞化」を招いた。
2. 国内での原材料不足を解消するために資源の豊富な国々へ工場を移したことで、国内の技術力が向上する「産業の高度化」を招いた。
3. 国内での商品の需要が急増したため、供給を間に合わせるために海外へ生産拠点を分散させたことで、国内の生産額が増加する「産業の活性化」を招いた。
4. 円安の影響で輸出が有利になったため、より多くの製品を作るために海外工場を建設したことで、国内の工場が閉鎖される「産業の集約化」を招いた。

問5 発展途上国の社会基盤の現状について、西アフリカのマリと先進国を比較した統計があります。人口1万人あたりの医師数が24人の先進国に対し、マリは1.4人にとどまっています。また、初等教育において教師1人が受け持つ生徒数は、先進国の16人に対し、マリでは39人となっています。これらの指標から読み取れる、発展途上国の課題として最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

1. 人口あたりの医師数が極端に不足している一方で、教育現場では少人数学級が実現されており、教育の質は高い。
2. 人口あたりの医師数が少なく医療体制が不十分であり、かつ教師1人あたりの生徒数が多いため教育環境の整備が遅れている。
3. 人口あたりの医師数が多いため医療体制は充実しているが、教師1人あたりの生徒数が多いため教育環境が過密になっている。
4. 医師数と生徒数のバランスが取れており、先進国に比べて少ない予算で効率的な社会運営が行われている。

問6 8世紀前半、聖武天皇の時代に都の平城京を中心に栄えた、仏教と唐の文化の影響を強く受けた国際的な文化を何といいますか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)

1. 国風文化
2. 飛鳥文化
3. 弘仁・貞観文化
4. 天平文化

問7 新幹線や高速道路などの交通網が整備され、都市間の移動に必要な「時間距離」が短縮されることで、地方都市の住民や経済機能が大都市へと吸い寄せられ、結果として地方が衰退してしまう現象を何といいますか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)

1. ストロー現象
2. スプロール現象
3. ドーナツ化現象
4. 過疎現象

問8 日本の税制において、企業の各事業年度の所得（利益）に対して課される「法人税」の性質について述べた文として、正しいものはどれか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

1. 商品の販売価格に上乗せされ、消費者が負担した分を企業が国に納める間接税である。
2. 国の財政を支える主要な税金であり、国に対して納める国税かつ直接税である。
3. 企業の利益に関わらず一定額を納めるもので、地方公共団体に納める地方税である。
4. 個人の1年間の所得に対して課され、所得が多くなるほど税率が高くなる国税である。

問9 奈良時代の都の跡などから出土する、細長い木の板に墨で文字が記された「木簡」は、当時の税制度においてどのような役割を果たしていましたか。その内容として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)

1. 班田収授法によって農民に分け与えられた土地の所有証明書
2. 役人が地方へ派遣される際に、その身分を証明するために携帯した札
3. 地方から都へ運ばれる租税である調や庸に付けられた荷札
4. 大陸との貿易を行う船に積み込まれた、公式な貿易許可証

問10 1866年に結ばれた薩長同盟の背景について、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

1. 桜田門外の変による大老の暗殺後、幕府の権威を回復させるために公家と武家の連携を強めることを目的とした。
2. 幕府から朝敵とされ武器の調達が困難だった長州藩に対し、薩摩藩が名義を貸して最新の武器を購入させた。
3. 生麦事件の結果として起きた薩英戦争に敗れた薩摩藩が、イギリスとの和平交渉を有利に進めるため長州藩に協力を求めた。
4. 日米修好通商条約の締結を不服とした両藩が、朝廷の許可なく幕府を攻撃するために軍事協定を結んだ。

問11 オーストラリアの貿易統計において、輸出額の推移をみると、20世紀半ばまでは農産物が中心でしたが、現在は特定の資源が輸出の大部分を占めています。その資源の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)

1. 石油・天然ガス
2. 鉄鉱石・石炭
3. 羊毛・小麦
4. 銅鉱・アルミニウム

問12 地中海性気候の地域では、その独特な降水パターンに合わせて工夫された農業が行われています。この地域で行われる農業の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

1. 広大な乾燥地帯を活かし、地下水路を用いた大規模な綿花栽培が行われている。
2. 夏季の乾燥に耐えられるオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。
3. 年間を通じて冷涼で雨が多いため、根菜類やライ麦の栽培と家畜の飼育を組み合わせている。
4. 夏季の高温多湿な気候を利用して、一年に二回米を作る二期作が行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 高度経済成長期の所得向上を背景に普及し、全国に共通の流行やニュースが同時に広まるきっかけとなった。	高度経済成長による所得の増加と、大量生産による家電価格の低下が普及を後押ししました。テレビを通じて全国の家庭に同じ映像情報が届けられるようになったことで、地域による情報の格差が縮まり、全国的な消費文化やライフスタイルの均質化が進む一因となりました。
問2	答え 2 氷河によって削り取られた深いU字型の谷に、海面の上昇や土地の沈降によって海水が入り込んだ。	フィヨルドは、かつて厚い氷河に覆われていた地域で、氷河が移動する際の強い侵食力によって削られた急峻な谷（U字谷）が、海面の上昇や土地の沈降によって海水の下に沈んだ「沈水海岸」の一種です。選択肢にある「河川の侵食によるV字谷」が沈水してできた地形は「リアス海岸」と呼ばれ、氷河の影響を受けていない三陸海岸などで見られる特徴です。
問3	答え 3 ラクスマンやレザノフを通商使節として派遣し、日本に貿易を求めた。	ロシアは1792年にラクスマンを根室へ、1804年にレザノフを長崎へ派遣し、日本との通商を求めました。当時、毛皮交易の拡大などを狙って南下政策を進めていたロシアに対し、江戸幕府は鎖国を理由にこれらの要求を拒否しました。これがきっかけとなり、幕府は最上徳内や近藤重蔵らに蝦夷地の調査を行わせるなど、北方警備を強化することとなりました。
問4	答え 1 商品の価格を抑えるために人件費の安い国々へ生産拠点を移したことで、国内の生産活動や雇用が減少する「産業の空洞化」を招いた。	1985年のプラザ合意以降、急速な円高が進んだことで日本製品の海外での価格競争力が低下しました。企業は生産コスト、特に人件費を抑えることで商品の価格を低く保ち、競争力を維持しようとして生産拠点を海外へ移転させました。その結果、日本国内の工場が閉鎖されたり、製造業の雇用が失われたりする「産業の空洞化」が深刻な課題となりました。原材料の不足や国内需要の増加が移転の主な直接原因ではありません。
問5	答え 2 人口あたりの医師数が少なく医療体制が不十分であり、かつ教師1人あたりの生徒数が多いため教育環境の整備が遅れている。	マリのような発展途上国では、人口規模に対して医師の数が極めて少なく、適切な医療を受けられない人々が多いことが深刻な問題となっています。また、教育面においても教師1人が39人もの生徒を担当しなければならない状況は、十分な指導が行き届かないことを示唆しており、社会の発展に不可欠な教育と医療の両面で整備が遅れている実態を物語っています。こうした状況は、貧困から抜け出すことを困難にする要因の一つとなります。
問6	答え 4 天平文化	奈良時代の代表的な文化で、遣唐使によってもたらされた唐の文化や仏教が深く結びついています。国際色が豊かであることが特徴であり、聖武天皇の時代にその最盛期を迎えました。
問7	答え 1 ストロー現象	交通網の整備は利便性を高める一方で、地方から大都市へのアクセスが容易になるため、購買力や労働力が大都市側に「吸い寄せられる」という副作用を生むことがあります。この様子を飲み物をストローで吸い上げる姿になぞらえてこのように呼びます。時間距離の短縮が必ずしも地方の活性化に直結しないことを示す地理用語です。
問8	答え 2 国の財政を支える主要な税金であり、国に対して納める国税かつ直接税である。	法人税は、株式会社などの法人が事業活動によって得た所得に対して課される税金です。税金を納める義務がある者（納税者）と、実際に税金を負担する者（担税者）が一致する「直接税」に分類されます。また、地方自治体ではなく国に納める「国税」であり、所得税や消費税と並んで国の一般会計歳入の大きな柱となっています。選択肢にある消費者の負担は「消費税（間接税）」、個人の所得への課税は「所得税」の説明です。
問9	答え 3 地方から都へ運ばれる租税である調や庸に付けられた荷札	木簡は紙が貴重だった時代に、記録や伝達のために広く使用されました。特に、地方から都へ納められる特産物の「調」や、労役の代わりに布である「庸」などの荷物に、送り主や品目、産地などを記した荷札として付けられていたことが、平城京跡などから出土した大量の木簡から判明しています。これにより、当時の物流や租税制度の具体的な仕組みを知ることができます。
問10	答え 2 幕府から朝敵とされ武器の調達が困難だった長州藩に対し、薩摩藩が名義を貸して最新の武器を購入させた。	長州藩は禁門の変（蛤御門の変）以降、幕府から討伐対象とされ、公式に武器を輸入することができない苦境に立たされていました。一方、薩摩藩は兵糧の不足に悩んでいました。坂本龍馬の仲介により、薩摩藩が武器の購入を代行し、長州藩が米を融通し合うといった実利的な協力関係が築かれたことが、強固な軍事同盟へと発展する要因となりました。
問11	答え 2 鉄鉱石・石炭	オーストラリアの輸出品目は、かつてはイギリス向けの羊毛や小麦が主流でしたが、1960年代以降の日本の高度経済成長や、近年の中国の急速な工業化に伴い、鉱産資源の輸出が急増しました。現在は露天掘りなどで大規模に採掘される鉄鉱石や、発電や製鉄に利用される石炭が輸出の大きな柱となっています。
問12	答え 2 夏季の乾燥に耐えられるオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。	地中海性気候の地域では、夏に雨が極端に少なくなるため、水不足に強い作物の選定が不可欠です。オリーブやブドウ、柑橘類などは、葉が小さく硬い、あるいは根を深く張るといった特徴を持ち、強い日差しと乾燥に適応しています。また、雨の降る冬季には小麦を栽培するといった、季節ごとの降水量を考慮した土地利用がなされています。